

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年06月04日

計画の名称	高崎市都市公園防災機能強化計画（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	高崎市													
計画の目標	群馬県高崎市は、榛名山麓等の森林が西部に広がり、烏川沿いと丘陵部や市街地の郊外部に農地が広がり、市域を貫くように烏川が流れ、都市の緑から、農地、森林などの多様な自然に恵まれた都市である。また、市域南東部には、都市化が進む中心市街地とともに、新幹線、高速自動車道などの交通網が集中する交通拠点を有した市街地が広がり、100km圏内に東京都、長野市、150km圏に水戸市、成田市、さらにその外円に新潟市などが位置し、これらの都市の港湾や空港へ、新幹線、高速自動車道などを介して、効率的なアクセスが可能な位置にある。この特性を活かし、「緑・花・水と人が交流する環境共生都市 たかさき」を目指し、都市公園の整備を進めることにより、緑とスポーツによる市民の交流と創造の場を創出するとともに、災害時における避難地、救急活動や物資集積・配給基地、大規模災害時における長期の避難生活や復興事業の拠点づくりを行う。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		5,120	A	5,120	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	防災公園の整備により、災害時に避難可能となる人数を 2,060人（R2）から 13,654人（R6）に増加 災害時に避難可能となる人数を、一人あたり避難面積が10㎡、及び車両避難2人/台として、算出する。 （当該公園の避難想定エリア面積） / （一人あたり避難面積 10㎡/人） + （駐車場台数） × （車両避難2人/台） （単位:人）	2060人	7857人	13654人
2	自治会単位での自主防災会の組織率を 75.8％（R2）から 82.7％（R6）に増加 自治会単位での自主防災会の組織率を算出する。 Σ（自主防災組織のある自治会（世帯数）） / Σ（高崎市内の自治会（世帯数）） × 100 （単位:％）	76%	80%	83%
3	スポーツに親しめる環境への満足度を 36.1％（R2）から 37.1％（R6）に増加 市民アンケートにより、スポーツに親しめる環境への満足度の割合を算出する。 Σ（手軽にスポーツに親しめる環境が整っていると回答した数） / Σ（アンケート調査の回答） × 100 （単位:％）	36%	36%	37%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	高崎市	直接	高崎市	-	-	都市公園事業（浜川運動公園（拡張））	公園整備 A 19.1ha	高崎市	■	■	■	■	■	5,120	6.01	-		
												小計						5,120			
																			5,120		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

高崎市で実施する

事後評価の実施時期

令和7年3月

公表の方法

高崎市ホームページで公表する

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・公園整備により、多くの人が訪れる憩いの場になりつつあるが、事業の進捗に遅れが生じているため、災害時に避難可能となる人数については目標値に届かなかった。
・公園整備が進むとともに、災害への備えに関心が高まった結果、自主防災会の結成率の上昇につながり目標を達成した。
・公園整備が進み、各種スポーツ大会が開催され、スポーツに親しめる環境が整備されていることが市民にも認知されたことにより目標を達成した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

本計画終了後の令和7年度も「高崎市都市公園防災機能強化計画（防災・安全）」を実施中であり、事業を継続することにより市民の交流と創造の場の整備を進めるとともに、災害時における避難地や物資集積・配給基地等の拠点整備を行う。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	防災公園の整備により、災害時に避難可能となる人数		
	最 終 目標値	13654人	他部局が計画している当該公園関連事業の業務遂行が難航しており、それに伴い事業の進捗に遅れが発生しているため。
	最 終 実績値	6640人	
2	自治会単位での自主防災会の組織率		
	最 終 目標値	83%	
	最 終 実績値	84%	
3	スポーツに親しめる環境への満足度		
	最 終 目標値	37%	
	最 終 実績値	38%	